

YL (ヨークレシチン)



ヨーク（卵黄）由来のレシチン（フォスファチジルコリン）を豊富に含有するサプリメントです。フォスファチジルコリンは「脳の栄養素」とも言われ、認知症の方や能機能を高めたい方に有効な成分です。生体膜の主構成要素であり、脳機能への作用の他に、細胞膜を守る、血中脂質を正常に保つ、脂質の吸収を助けるといった多彩な作用があります。

こんな方にお勧めします

- ▶ 認知症が気になる
- ▶ アルツハイマー病が気になる
- ▶ 最近物忘れが多い
- ▶ 受験を控えている
- ▶ 肝疾患が気になる
- ▶ 脂質異常症が気になる など

脳神経伝達物質の供給源

フォスファチジルコリンは神経細胞に多く存在し、神経伝達物質であるアセチルコリンの原料となって脳機能を活性化します。ヨーク（卵黄）フォスファチジルコリンは、重要なコリン源です。コリンは、血液脳関門を通過し、脳内でアセチルCoAと結合しアセチルコリンとなって、作用を発揮します。フォスファチジルコリンは、単なるアセチルコリンの前駆体としてだけでなく、神経細胞や核膜の主成分として、脳神経系の機能維持には欠かせない成分です。フォスファチジルコリンを含む構成物が膜の安定性を高め、神経伝達に影響を与えることも報告されています。

Topics

～フォスファチジルコリンに期待される効果～

アルツハイマー病の予防と改善

アルツハイマー型認知症（AD）患者脳において、大脳皮質や海馬のコリン系神経細胞の脱落が認められ⁽¹⁾、この脱落の程度と記憶障害に関連が認められることが示されている⁽²⁾

(1) Whitehouse, P.J. et al.: Science 215 :1237-1239, 1982

(2) Coyle, J.T. et al.: Alzheimer's disease: Science 219:1184-1190, 1983

Delwaide（ベルギー）が35人の男女AD患者に二重盲検試験を行い、フォスファチジルコリン300mg/日群に優位な改善がみられた。

Delwaide, p.i.: Acta Neurological Scandinavica 73:136-140, 1986

Awaducchi（イタリア）がAD115名を対象にフォスファチジルコリン200mg/日を3ヶ月投与し、プラセボ群と比較し優位な改善を報告している。

Amaducci, L. et al.: Psychopharmacology Bulletin, 24,130-134, 1988

記憶力、学習能力の向上

Canachiは、フォスファチジルコリンの二重盲検で425症例の治験を行い、特に記憶力と学習力および自閉症に顕著な改善が見られたと報告している。

Genachi T. et al.: Aging Clinical and Experimental Research, 5,123-33, 1993

肝疾患（慢性肝炎、脂肪肝）の改善

レシチンの抗脂肪肝作用については、1931年にすでに報告されており、1954年には治療に用いられ始めている。特にNASHの改善に有効と考えられる。

脂質異常症の改善

特に、フォスファチジルコリンはHDL値を上昇させることが知られている。

脂質の吸収を助ける

レシチンは胆汁酸と共に腸管内に分泌され、脂質の加水分解物であるリゾリン脂質や脂肪酸、コレステロール、脂溶性ビタミンなどと複合ミセルを作り、これを可溶化し、吸収を助ける。

原材料

フォスファチジルコリン含有卵黄油
<被包材>ゼラチン、グリセリン

標準成分<1粒（650mg）中>

総リン脂質..... 227 mg
フォスファチジルコリン..... 195 mg

レシチンには、卵黄由来と大豆由来がありますが、フォスファチジルコリンを最も多く含む食品は卵黄です。本製品は、大豆レシチンの2.5倍のフォスファチジルコリンを含む卵黄を原材料にしています。

サプリメントハイライト



MSSの「YL」は公益財団法人日本健康・栄養食品協会（平成4年厚生大臣認可）認定のGMP工場にて、原料の受け入れから最終製品の出荷に至るまで、厳重な管理基準の下、安全かつ高品質に製造されているサプリメント製品です。